

平成19年度補助金等報告書

社団法人 海外環境協力センター

(1) 年間収入(総収入 - 前期総繰越)		262,786 千円(A)	
(2) 補助金等の交付実績額			
名 称	補助金・委託費の別	交付官庁	金額
平成19年度CDM/JI事業調査(京都メカニズム相談支援事業)	委託費	環境省	67,000 千円
平成19年度CDM/JIに関する途上国等人材育成支援事業(第17回地球温暖化アジア太平洋地域セミナー開催事業)	委託費	環境省	27,000 千円
平成19年度コネフィット型CDMプロジェクト形成等の促進に係る調査事業	委託費	環境省	20,000 千円
平成19年度黄砂問題調査検討事業	委託費	環境省	14,550 千円
平成19年度地方自治体が関与するCDMプロジェクト外のフィージビリティスタディ調査	委託費	環境省	18,000 千円
合 計			146,550 千円(B)
(3) 補助金等の年収比率		55.8 %(B/A)	

* 百円単位四捨五入

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成19年度CDM/JI事業調査(京都メカニズム相談支援事業)		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>1997年(平成9年)12月に開催された国際連合枠組条約第3回締約国会議(COP3)において、日本を含めた先進国の温室効果ガス排出削減目標を具体的な数値として約束した「京都議定書」が採択された。日本・EU諸国をはじめとする先進国と中国・インド・ブラジルなどの途上国の多くの国々も批准をし、2005年(平成17年)2月に京都議定書の発効を迎えた。京都議定書には、各先進国の削減目標を達成するため、柔軟性措置として「クリーン開発メカニズム(CDM)」や「共同実施(JI)」等の「京都メカニズム」と呼ばれる市場原理に基づいた仕組みの活用が認められている。第一約束期間(2008年(平成20年)～2012年(平成24年))を目前に控え、2006年(平成18年)には環境省および経済産業省による「京都メカニズムクレジット取得事業」が開始され、京都議定書に定められた日本の削減目標6%の確実な達成に向けて積極的な取り組みが一層推進されている。従って、日本政府が負っている温室効果ガス排出削減量の6%削減という目標を遵守するために、京都メカニズムの更なる活用が重要と考えられる。</p> <p>CDM/JI事業の実施に際しては企業をはじめとする民間事業者が主体となることが期待されるが、これらの事業の形成には多様な情報を必要とすることが通例である。これらの情報には、CDM等京都メカニズム事業の要件や手続に係るもの、相手国のCDM等関連部局や国別の事業採択動向に関するもの、事業に適用可能な技術に係るもの、認証排出削減量等(クレジット)の認証や認証機関に関するもの、取得したクレジットの利用に関するもの、さらに先行事業から得られた知見など多岐にわたっている。これらの情報を組織的・戦略的に収集・分析し、CDM/JIの事業実施を検討している事業者等のニーズを把握した上で、適切な形態で提供することができれば、広く日本のCDM/JI事業の形成促進に資することができる。また、これらの情報の収集と発信等の事業活動は、既に開始されている「京都メカニズムクレジット取得事業」と連携することで、究極的には日本の京都議定書上の目標達成へと帰結することが重要である。当事業は、2003年(平成15年)度より情報提供機能(「情報プラットフォーム」)の基盤構築のため、情報収集・発信戦略の検討、試行版ホームページの立ち上げを行うとともに、事業者に対する相談受付等の活動を行い、また2005年(平成17年)には、日本政府及び関連機関で形成する京都メカニズム推進支援プログラムである「Japan Kyoto Mechanisms Acceleration Programme(JKAP)」の情報発信部門として位置付けられ幅広く活用されている。今年度は、それらの活動を踏まえ、温室効果ガス排出量6%削減という目標を確実に達成するために、政府関係機関と連携をはかりながら、事業者による案件形成をより積極的な形で目指して事業を推進することが期待される。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>1.情報の収集・分析 2.「京都メカニズム情報プラットフォームHP」の更新・拡充による情報発信 3.国内民間事業者に対するセミナーの開催 4.その他の事業者支援</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 海外環境協力センター		
4. 交付実績額			67,000 千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			24,901 千円
(2) 一般管理費			6,182 千円
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
	合計	31,083 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
	京都メカニズムクレジット調査委託費	ナットワース・ジャパン(株)	6,963 千円
	CDM事業に関するホスト国情報調査	CEI-Net(中国)	10,000 千円
	合計	16,963 千円(B)	
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	合計	千円	
7. その他			
	内容	金額	
	業務費	16,314 千円	
	消費税	2,640 千円	
	合計	18,954 千円	
8. 再補助・再委託等の割合			25.3 %(B/A)

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成19年度CDM/JIに関する途上国等人材育成支援事業 (第17回地球温暖化アジア太平洋地域セミナー開催事業)		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>環境省は、地球温暖化アジア太平洋地域セミナーを開催することにより、アジア太平洋地域における気候変動問題に係る取組、認識の向上、経験の交流等を通して同地域の人材育成に貢献してきた。1991年1月愛知県名古屋市での第1回セミナー開催以来、これまでに16回のセミナーを国内外で開催してきており、その間に気候変動枠組条約京都議定書の採択・批准等、気候変動分野において著しい進展がみられたが、同セミナーは気候変動問題への取組や人材育成に貢献し、その取組は国内外から広く評価されてきている。昨年度開催の第16回セミナーでは、特別テーマとして、地球温暖化対策と大気汚染対策などのコ・ベネフィット(共通利益)を取り上げ、地域の社会・経済開発問題の改善に繋がる重要な政策ツールとしての認識を高めるとともに、同年末に開催の第12回国連気候変動枠組条約締約国会議・京都議定書第2回締約国会議(COP12、COP/MOP2)にて、取組の成果を発表した。</p> <p>本セミナーでは、専門家間で気候変動問題の情報・経験の共有を図るとともに、自由な意見交換を行うことにより、同地域内におけるこれらの問題への取組の促進や人材育成に資することを目的としている。特にクリーン開発メカニズム(CDM)の実施や開発にも資する地球温暖化対策共通利益の実現に向けた方法論や各国の取組等エネルギー起源のCO2排出削減に資するために、各国の政策担当者や研究者等により情報交換や意見交換を行い、同地域内の人材育成に貢献していく。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>1.セミナーに関連する国際的議論等の事前調査 2.会議招聘者等の選考 3.主催関係機関の調整 4.参加者に対する招聘手続き並びに会場手配 5.会議運営 6.セミナーの会議成果に関する出版物並びに業務結果報告書の作成</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 海外環境協力センター		
4. 交付実績額			27,000 千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			11,475 千円
(2) 一般管理費			3,302 千円
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
	合計	14,777 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
	合計	0 千円(B)	
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	合計	千円	
7. その他			
	内容	金額	
	業務費	10,937 千円	
	消費税	1,286 千円	
	合計	12,223 千円	
8. 再補助・再委託等の割合			0 %(B/A)

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成19年度コベネフィット型CDMプロジェクト形成等の促進に係る調査事業																										
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>2005年2月に発行した京都議定書においては、先進国各国の削減目標を達成するための柔軟措置として、「クリーン開発メカニズム(CDM)」を始めとする京都メカニズムの活用が認められている。中でもCDMは、先進国技術・資金を活用して途上国における温室効果ガス削減を促進し、途上国に対する技術移転や持続可能な開発の便益がもたらされることが大きく期待されており、また、途上国においても温室効果ガスの排出削減のみならず持続可能な開発に資するプロジェクトの形成促進に関するニーズは高い。</p> <p>1億t CO2という大規模な量の京都メカニズムクレジットの購入を目指す我が国は、京都議定書遵守の重要な手段であるCDMを、発展途上国の開発ニーズ(環境対策実施を含む)に資する形で促進することにより、我が国が購入することのできるCDMプロジェクトの形成を促進するとともに、地球温暖化対策と持続可能な開発の双方を追求することが重要である。その際、従来開発途上国支援の分野で長い経験を有する開発援助機関や、CDM等を実施する民間事業者との有機的な連携が極めて重要である。</p> <p>本事業は、地球温暖化対策と発展途上国の開発双方を促進する手法として有力な「コベネフィット・アプローチ」を具体的な対策活動に統合するための支援方法について調査検討を行うことを目的としている。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>1.コベネフィット型CDMプロジェクト等に関するグッドプラクティスの収集・分析 2.民間事業者によるコベネフィット型CDMプロジェクトの形成等の支援方法の検討 3.開発分野におけるコベネフィット型CDM等の効果的連携のあり方に関する調査検討 4.コベネフィット型CDMプロジェクト等の評価指標の開発に関する検討 5.検討会の開催</p>																										
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 海外環境協力センター																										
4. 交付実績額			20,000 千円(A)																								
5. 補助金等における管理費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(1) 人件費</td> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">7,712 千円</td> </tr> <tr> <td>(2) 一般管理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,903 千円</td> </tr> <tr> <td>(3) その他の管理費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">内容</td> <td style="text-align: center;">金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">9,615 千円</td> </tr> </table>			(1) 人件費		7,712 千円	(2) 一般管理費		1,903 千円	(3) その他の管理費				内容	金額					合計	9,615 千円						
(1) 人件費		7,712 千円																									
(2) 一般管理費		1,903 千円																									
(3) その他の管理費																											
	内容	金額																									
	合計	9,615 千円																									
6. 外部への支出	<p>(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">支出内容</th> <th style="width: 20%;">支出先</th> <th style="width: 30%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物分野の調査</td> <td>(株)イクス都市研究所</td> <td style="text-align: right;">1,600 千円</td> </tr> <tr> <td>水質汚濁分野の調査</td> <td>(有)神戸インターナショナルテクノロジー</td> <td style="text-align: right;">1,600 千円</td> </tr> <tr> <td>大気汚染分野の調査</td> <td>(株)数理計画</td> <td style="text-align: right;">900 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,100 千円(B)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) (1)以外の支出</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">支出内容</th> <th style="width: 20%;">支出先</th> <th style="width: 30%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </tbody> </table>			支出内容	支出先	金額	廃棄物分野の調査	(株)イクス都市研究所	1,600 千円	水質汚濁分野の調査	(有)神戸インターナショナルテクノロジー	1,600 千円	大気汚染分野の調査	(株)数理計画	900 千円	合計		4,100 千円(B)	支出内容	支出先	金額				合計		千円
支出内容	支出先	金額																									
廃棄物分野の調査	(株)イクス都市研究所	1,600 千円																									
水質汚濁分野の調査	(有)神戸インターナショナルテクノロジー	1,600 千円																									
大気汚染分野の調査	(株)数理計画	900 千円																									
合計		4,100 千円(B)																									
支出内容	支出先	金額																									
合計		千円																									
7. その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 40%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務費</td> <td style="text-align: right;">5,333 千円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td style="text-align: right;">952 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">6,285 千円</td> </tr> </tbody> </table>			内容	金額	業務費	5,333 千円	消費税	952 千円	合計	6,285 千円																
内容	金額																										
業務費	5,333 千円																										
消費税	952 千円																										
合計	6,285 千円																										
8. 再補助・再委託等の割合			20.5 %(B/A)																								

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成19年度黄砂問題調査検討事業		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>黄砂は従来自然現象として捉えられていたが、近年では、中国を始め、韓国、日本でも被害が急激に激甚化しており、過放牧や耕地の拡大等の人為的影響との関連性が指摘がされている。黄砂は、交通機関等に影響を及ぼすほか、呼吸器疾患等の健康影響の可能性が指摘されているが、その発生・移動経路や人体への影響等は必ずしも解明されていない。このような中、中国、モンゴル、韓国、日本の4カ国及びADB(アジア開発銀行)、UNEP(国連環境計画)、ESCAP(アジア太平洋経済社会委員会)、UNCCD(国連砂漠化対処条約事務局)の4国際機関の協力の下、黄砂対策マスタープラン作成等の調査プロジェクト(ADB-GEF黄砂対策プロジェクト)が実施されている。</p> <p>また、平成16年12月に東京で開催された第6回日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM6)及び黄砂問題に関する日中韓モンゴル大臣会合では、今後とも黄砂問題に積極的に取り組んでいくことで一致し、平成19年3月にはTEMM8の合意を受け、日本、韓国及び中国の3カ国による黄砂対策局長級会議が開催され、共同研究の実施など地域協力が合意されている。</p> <p>環境省ではこのような取組に積極的に参加・支援していくとともに、黄砂の捕集・分析を行う黄砂実態解明調査(地方自治体委託)や、黄砂モニタリングネットワークの整備・運営を順次実施していくこととしている。</p> <p>本業務は、平成18年度に引き続き、国内外の黄砂に関する情報の収集・整理を行い、これに基づき、黄砂問題に関連する分野に精通する学識経験者・専門家からなる検討会において必要な検討等を行い、今後の黄砂対策のスキーム作成のための基礎資料を得ることを目的として実施するものである。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>1.情報収集・整理 2.検討会等運営業務 3.黄砂実態解明調査等のデータ解析 4.ADB-GEF黄砂対策プロジェクト第2フェーズ'支援業務に係る作業 5.黄砂パンフレット(日本語版・英語版)の改訂、印刷 6.業務報告書の作成</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 海外環境協力センター		
4. 交付実績額			14,550 千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			4,306 千円
(2) 一般管理費			931 千円
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
	合計	5,237 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
	黄砂実態解明調査試料分析	(株)環境管理センター	4,480 千円
	合計	4,480 千円(B)	
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	合計	千円	
7. その他			
	内容	金額	
	業務費	4,140 千円	
	消費税	693 千円	
	合計	4,833 千円	
8. 再補助・再委託等の割合			30.8 %(B/A)

補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成19年度地方自治体が関与するCDMプロジェクトのフィージビリティスタディ調査		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>京都議定書第12条に規定されるクリーン開発メカニズム(CDM)は、先進国による温室効果ガス削減目標の達成に貢献し、また、発展途上国の持続可能な開発にも資する手段として大きな注目を集めている。とりわけ、京都メカニズムクレジット需要の急速な拡大により、民間企業を中心としたプロジェクト活動は活発化しており、我が国を含む各国の事業者が参加している。</p> <p>このようなCDMプロジェクトの普及は、CDMが制度として定着し確実な形で排出削減活動が行われていることから一定の評価が与えられるべきである。しかしながら、CDMのもう一つの目的である発展途上国の持続可能な開発に資するという観点からは、現在のCDMは課題を抱えている。</p> <p>地方自治体の間でも、CDMに関する関心は急速に高まりつつあり、ホスト国自治体の一部には既にこれを活用する動きもある。我が国の地方自治体は、これまでの公害対策、環境保全対策、国際環境協力等の経験から、ローカルな環境管理のスキームの一部としてCDMを活用しようとするホスト国自治体との間での協力を行う能力を有している。</p> <p>本事業においては、地方自治体が関与するCDMプロジェクトの実施可能性を調査することを目的としている。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>1.地方自治体間の国際環境協力によるCDMプロジェクトの実施可能性調査 2.地方自治体が関与するCDMプロジェクトのグッドプラクティスの調査・分析 3.地方自治体がCDMを活用するあり方についての検討 4.国際会議等における成果の発表・報告 5.報告書の作成</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 海外環境協力センター		
4. 交付実績額			18,000 千円(A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			2,538 千円
(2) 一般管理費			1,679 千円
(3) その他の管理費			
	内容	金額	
	合計	4,217 千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金額
	プロジェクト設計書(PDD)作成費	(有)クワイメント・エキスパート	1,500 千円
	合計	1,500 千円(B)	
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金額
	合計	千円	
7. その他			
	内容	金額	
	業務費	11,426 千円	
	消費税	857 千円	
	合計	12,283 千円	
8. 再補助・再委託等の割合			8.3 %(B/A)